

外安全対策情報 2019年度第3四半期（10～12月）

在デンマーク日本国大使館

1 テロ・爆発事件発生状況

12月11日、デンマーク国家警察は、デンマーク国内各地でイスラム過激主義に基づくテロを計画していたとして、22名を逮捕しました（内6名が勾留中、16名は釈放）。今回は未然に警察が検挙することができましたが、警察はデンマークでのテロの脅威度を依然として5段階評価の上から2番目に高い「重大（Significant）」としており、テロの発生には十分注意してください。

また、首都コペンハーゲンを中心にギャング同士の抗争とみられる銃撃事件や爆発事件が引き続き発生しています。

警察関係者によりますと、爆発事件はギャングの脅し目的であり一般人を狙ったものではないとのことですが、爆発や銃撃に巻き込まれる可能性があります。特に、爆発事件は深夜時間帯（午前2時から午前5時の間）に多く発生していますので、同時間帯での外出は控えるなど注意してください。

2 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪情勢の概況

デンマーク国内の犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、日本と比較すれば犯罪発生率が非常に高い状況に変わりはありません。例えば、人口10万人あたりの犯罪発生件数（発生率）を比較すると、2018年の統計では、デンマークは日本の約9倍にあたります。

（2）邦人被害の発生状況

10月から12月にかけて、当館で把握している限りで、スリや置き引き等により、7件の旅券盗難（紛失）事案が発生しています。夏の観光シーズンを終え件数は減少（前期比－6件）しておりますが、被害の多くは、空港へ向かう電車内や駅、観光地で発生している他、ホテルの朝食会場で席取りのためバッグ等をテーブルの上に置いて盗まれるケースも多く、外出先では常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意してください。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害にあった事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は認知していません。（了）